

「たたき台」をもとに、地域住民等の皆さんからご意見を伺い「素案」としてとりまとめます

■アンケートにご協力ください。

右の2次元コードから「たたき台」へのご意見を伺うアンケートページにアクセスできます。是非、ご意見をお聞かせください。

アンケートは中野区のホームページからもアクセスできます。

アンケートでいただいた情報は個人の情報が特定できないようになっている他、東中野駅周辺まちづくり基本方針の策定に向けた検討のみに使用します。

回答期限:2025年8月3日(日)まで



アンケートはこちら

■オープンハウスを開設します。是非、お越し下さい。

これまでの検討状況やたたき台の内容についての展示資料をご覧いただき、アンケートに回答いただく形式でご意見を募集します。職員が常駐いたしますので、ご質問にもお答えします。開催時間内のお好きな時間にお越しください。

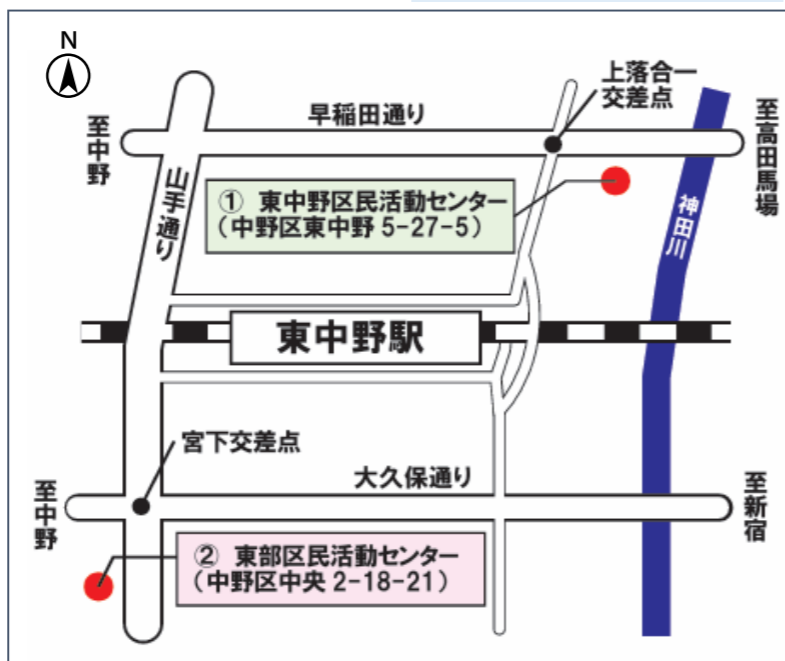


入退場自由!
どなたでも来場
いただけます

■日時・会場

- ① 2025年7月12日(土) 午前10時00分~午後3時00分 東中野区民活動センター2階 洋室4
- ② 2025年7月26日(土) 午前10時00分~午後3時00分 東部区民活動センター2階 洋室2

※両日ともに同じ内容です。



■今後は、説明会の開催なども予定しています。

東中野駅周辺まちづくり基本方針策定までの流れ



皆様からいただいたご意見を踏まえて、2025年秋ごろに「素案」を作成する予定です。「素案」については、ニュースで概要についてお知らせするほか、説明会の開催なども予定しています。

今後のまちづくりに関しては、中野区のホームページにも掲載しますので、あわせてご覧ください。

<お問合せ先>

中野区 まちづくり推進部 まちづくり計画課 担当:二崎・上村
TEL: 03-3228-5463 (直通)
Mail: matidukurikeikaku@city.tokyo-nakano.lg.jp

まちづくりの情報は中野区ホームページからもご確認ください。

東中野駅東口周辺まちづくり

ACワークス株式会社が運営する「イラストAC」の素材の一部を使用して作成しています。使用している地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものです。(承認番号) (MMT利許第06-K114-3号)

東中野駅東口周辺 まちづくりニュース

Vol. 4

2025年7月発行

【発行】中野区 まちづくり推進部 まちづくり計画課

東中野駅周辺まちづくり基本方針(たたき台)についてご意見を募集します!

2024年3月に策定した東中野駅周辺まちづくり基本方針骨子を踏まえて、具体的な取り組みの方針をまとめた「東中野駅周辺まちづくり基本方針(たたき台)」を作成しました。内容についてご紹介するとともに、皆様からご意見を募集いたします。

東中野駅周辺まちづくり基本方針(たたき台)の概要

1. 策定背景・目的

- 東中野駅周辺において、西口側は駅前広場などが整備されて駅のバリアフリー化がされていますが、東口側は駅及びその周辺もバリアフリー化されておらず、かねてより地域住民等からバリアフリー化の要望が多く寄せられてきました。また、東中野駅東口周辺においては、「駅とまちが一体的な空間として形成されていない」、「駅前にふさわしい土地利用が図られていない」などの課題もあります。
- 東中野駅周辺まちづくり基本方針は、駅舎等のバリアフリー化を含む東中野駅周辺地域の課題を解決し、まちの魅力を高めていくためのまちづくりの基本的な考え方を整理します。

2. まちづくりの基本方針

(1) 目指すべきまちの将来像

まちの現状や地域住民等からの意見を踏まえ、より魅力あるまちにしていくために、目指すべきまちの将来像を掲げます。

駅とまちがバリアフリー化され、東中野らしいにぎわいと良好な住環境が共存するまち

(2) まちづくり方針図(各方針の内容は2、3面をご覧ください)

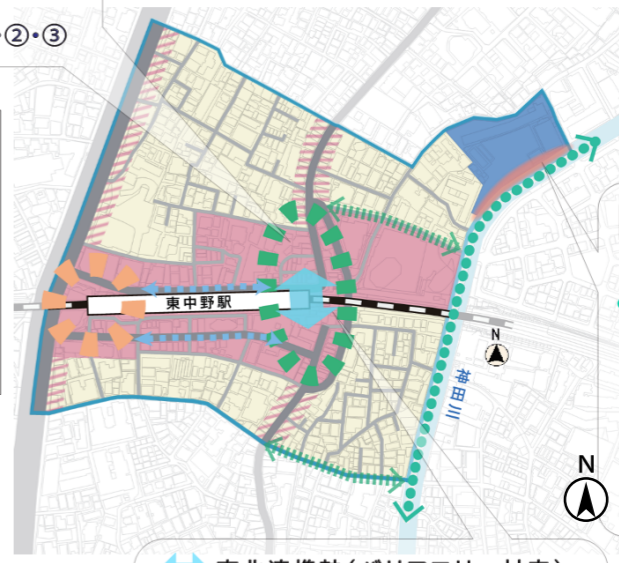
東口駅前拠点検討エリア
民間開発を誘導し、駅前にふさわしい姿について検討するエリア
○東口駅舎および駅周辺の歩行経路のバリアフリー化
○駅前にふさわしい都市空間の創出
○オープンスペースを活用したにぎわいづくり
○魅力とにぎわいのある商業環境の形成に関する検討
○防災機能の確保に向けた検討
⇒方針①・②・③

住商共存ゾーン
住宅と商業・業務施設が共存するゾーン
○魅力とにぎわいのある商業環境の形成に関する検討
⇒方針②

公共施設等検討ゾーン
公共施設等用地や民間活力の活用等を検討するゾーン
○防災機能の確保に向けた検討
○自然に親しめる居心地の良い水辺空間づくり
⇒方針③・④

商業・業務ゾーン
駅周辺の利便性を活かした商業・業務地として活用するゾーン
中層住宅ゾーン
中層住宅を中心とした良好な住環境を保全するゾーン
○地域の象徴となるみどりの誘導
○地区計画における緑化率の設定
⇒方針⑤

西口駅前拠点エリア
駅西口周辺の拠点機能を維持していくエリア
東西連携軸
西口と東口をつなぐ動線となる軸
南北連携軸(バリアフリー対応)
東口の南北の連携を強化
○東口駅舎および駅周辺の歩行経路のバリアフリー化
⇒方針①



憩いの場検討エリア
地域住民が集う憩いの場づくりを検討するエリア
水とみどりの親水軸
神田川を活かした自然と親しめる空間やにぎわいを形成
○自然に親しめる居心地の良い水辺空間づくり
まちとみどりの連携軸
まちと神田川のつながりを強化
○人の流れづくり
⇒方針④

(3) 各方針と実現に向けた取り組み

目指すべきまちの姿の実現に向けて、現状の課題解決に加え、まちの魅力をより向上させるための方針と具体的な取り組み内容を示します。

方針① バリアフリー化され誰もが安全に通行できるまちづくり

➤東中野駅を中心にバリアフリー化を実現し、誰もが移動しやすく安全に通行できるまちを目指します。



○東口駅舎および駅周辺の歩行経路のバリアフリー化

東口駅舎のバリアフリー化について、鉄道事業者を始めとした関係者と実現に向けた方策について検討を進めていきます。

また、駅前広場空間の整備と併せて、東中野駅東口周辺の地形上の段差についてもバリアフリー化を図ります。

さらに、駅を挟んだ南北のバリアフリー経路の確保に向け、民間開発による一体的な整備も視野に入れながら、関係者と検討を進めます。

← 図 バリアフリー経路（想定）

方針② 東中野らしいにぎわいが生まれるまちづくり


➤誰でも安心して気軽に立ち寄れる居心地の良い空間を創出し、そこでの多様な人々の活動により、東中野らしい新たなにぎわいが生まれるまちを目指します。

○駅前にふさわしい都市空間の創出

東口駅前拠点検討エリアでは土地の高度利用化を図り、民間の都市開発等を誘導します。その際に、人々が集まることができるオープンスペースやゆとりある歩道状空地の確保、低層部への商業・業務機能の導入など、駅前にふさわしいウォーカブルな都市空間の創出に向けた検討を進めます。

○オープンスペースを活用したにぎわいづくり

民間開発等により創出されるオープンスペースについては、東中野の文化の一つであるお祭りなどの地域活動や、日常的なにぎわいづくりなどに取り組むことを検討します。



駅前空間をイベントに活用している例→

○魅力とにぎわいのある商業環境の形成に関する検討

主に駅東側道路沿いで店舗などが減少しており、にぎわいのある商業環境が失われつつあります。魅力ある街並みの形成について、商店街を中心とした地域の方々と検討します。

方針③ 安全で安心して過ごせるまちづくり

➤災害時にも避難や一時滞在できる場所を確保し、住む人だけでなく訪れた人も安全・安心に過ごせるまちを目指します。

○防災機能の確保に向けた検討

旧中野区立第三中学校が避難所であった経緯から、跡地活用の検討の際には防災機能の誘導について検討していきます。

また、東口駅前拠点検討エリアで民間開発が行われる際は、災害発生時に帰宅困難者を受け入れる、一時滞在施設の誘導を検討します。

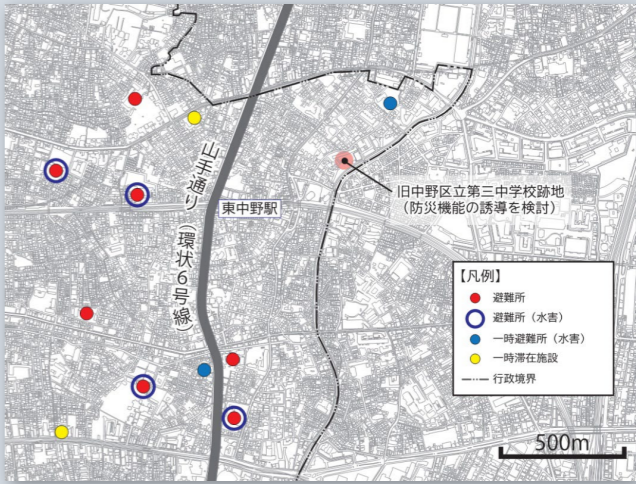


図 防災機能の誘導場所（想定）→

方針④ 水辺を活かしたまちづくり

➤今ある魅力をさらに高めるため、地域住民の憩いの場である神田川沿いを、景観に配慮した質の高い空間にするとともに、休憩スペースや公園などを確保して、より居心地のいい水辺空間の形成を目指します。

○自然に親しめる居心地の良い水辺空間づくり

神田川沿いは東中野地域の中でも自然豊かな場所となっており、地域住民等にとっても憩いの場となっています。春には桜が咲き、区内でも有数のフォトスポットとして知られていますが、今後はその魅力をさらに高めるために、区有施設の敷地の一部を活用して、河川沿いに公園や休憩場所などの桜に親しめる場づくりを検討します。

○人の流れづくり

東中野駅東口周辺から神田川方面に人の流れをつくり、にぎわいを広げていくために、景観やまちのコンセプトに配慮した誘導サイン（案内表示）を民間開発時に創出されたオープンスペース等への設置を検討します。

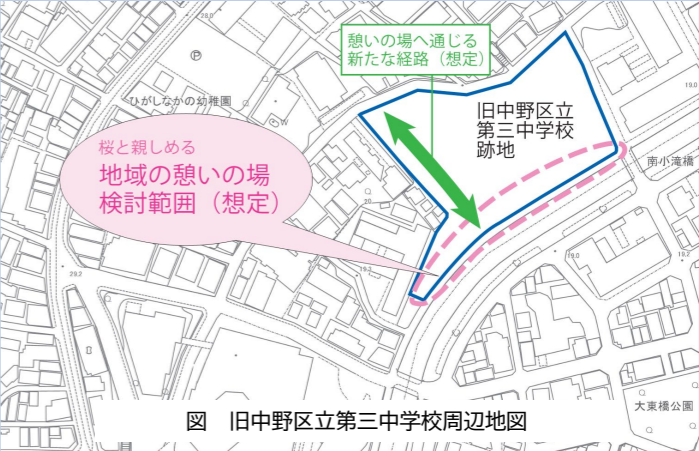


図 旧中野区立第三中学校周辺地図

方針⑤ 都心に近いながらも良好な市街地が広がるまちづくり

➤駅前通りを中心ににぎわいを生み出しつつ、後背地に関してはこれまでの良好な住環境を維持することにより、都心に近く利便性の高い、住み心地の良いまちを目指します。


➤また、民間の都市開発等が行われる際には良質な植栽を設けるなど、まちなかのみどりを増やすための取り組みも検討します。

○質の高いみどりの誘導

東口駅前拠点検討エリアで一定規模以上の民間都市開発等が行われる際には、量を増やすだけでなく質の高い緑化による、みどり豊かで潤いのある快適な都市環境の創出を誘導します。

○地区計画における緑化率の設定

中野区では、環境共生型のまちづくりとして、地区計画や任意のまちづくり計画に脱炭素の推進に資する方針等を位置付けることを目指しています。今後地区計画が策定される場合は、地域の実情や意向を踏まえた上で緑化率等の基準を設け、まちなかのみどりを増やす取り組みを進めていきます。



民間都市開発により生み出されたみどり [中野二丁目]